

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 007	提案機関名 横須賀市
要望問題名	農産物の高温障害対策と新たな特産品の研究について
要望問題の内容	<p>昨今、温暖化の影響で夏が例年になく高温となっており、2024年には全国的に農産物の生産量が減少し市場に出回る量が大幅に減少する状況に陥りました。県内有数の露地野菜の産地である三浦半島においても、7月～9月の平均気温が2℃～3℃上昇するなど、夏の高温と少雨の影響で、主要作物であるキャベツを中心に、農産物の生育障害が発生しています。</p> <p>こうした状況を改善できるよう貴研究機関におきましても夏の温暖化に対応するための育成方法や品種改良に継続して取り組むとともに、三浦半島の新たな特産になるような、果樹を含む新たな作物の研究について取り組まれるよう提案いたします。</p>
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所、生産技術部、足柄地区事務所
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) II-4(2)ア 早春キャベツ地床育苗の高温対策技術の確立、II-2(1)ア 露地栽培における野菜の高温期の初期成育安定化手法の確立、三浦半島地域におけるスイカ果実の高温対策の確立(三浦) II-2(1)エ 県西地域に適したアボカド栽培技術の確立(足柄)		
対応の内容等	<p>三浦半島地区事務所では、夏季の高温対策として、令和6年度から上記試験研究課題を設定し、スイカ、早春キャベツを対象に遮熱資材等を使った安定生産技術の確立に取り組んでおり、令和8年度も引き続き実施します。また、野菜の品種改良については実施する予定はありませんが、地域に適した優良品種の選定や新たな品目の選定、栽培技術の確立については、情報収集を行いながら、試験研究課題化を検討します。</p> <p>果樹に関しては、三浦半島地区事務所では試験研究することはできませんが、足柄地区事務所では、令和7年度からアボカドの栽培技術の確立に取り組んでいます。本課題終了後は、新たに栽培可能な熱帯果樹を対象に試験研究を行う予定ですので、本所(果樹花き研究課)とも連携しながら試験研究課題化を検討します。</p>		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			